

# 地域おこし協力隊の活動日記



文 / 大橋 三千雄 隊員

みなさん「SDGs」をご存知でしょうか？エス・ディー・ジーズは「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲載されている、持続可能な開発目標の意味で、2030年までの具体的な目標を定めたものです。昨年末から札幌の仲間と準備してきたこのイベントが先日、札幌の地下歩行空間で行われ、豊浦町役場、噴火湾とようら観光協会、そして地域おこし協力隊で参加してきました。SDGsはちょっと難しいテーマですが、この問題に取り組みつつ、町のアピールとしてホタテ釣りを紹介し体験してもらい、特に子どもたちには大好評でした。

さて、私の地域おこし協力隊の任期はあと3カ月ほどとなりました。任期終了後も豊浦町で生活していくつもりですが、その手段のひとつとして養鶏をしようと現在準備中です。

平飼いで湧水、道産自家配合飼料を与えおいしい卵を産んでもらえるようにひなから育てていま

す。4月以降になるとと思いますが、販売する卵を見かけましたらぜひ食べてみてください。よろしくをお願いします。



▲10月に生まれたひなたち。現在は、だいぶ大きくなりました。

協力隊の活動はフェイスブックで発信中です！

Facebook

<https://www.facebook.com/toyoura.chiikiokoshi/>

## 町長からのそよ風だより 第53回

町長から身近な話題や皆さんへのメッセージを紹介します。

初雪が降ったとはいえ例年になく暖かい師走、町民の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

11月3日の文化の日、功労者表彰式典が「とわにー」において多数の関係者のご出席の下、盛大に開催されました。それぞれの分野で地域のために尽くされたご功績に、あらためて感謝と敬意を表します。

また、文化祭においては、絵画・書道・華道など、素晴らしい作品を多数出展いただくとともにお茶会も開催していただき、関係各位に感謝とお礼を申し上げます。

さて、今年もポッカサッポロから、豊浦いちごを原料とした、「リボン北海道いちごソーダ」が11月26日から販売されました。昨年は、豊浦産いちごエキスを70%使用でしたが、今年はなんと100%使用で24本入り6万ケースの限定販売です。昨年は、発売とともにあちらこちらで売り切れ状態となり、9万ケースを売り上げました。町民の皆様にもぜひご飲用いただくとともに、知人友人にも宣伝していただければと思っています。

先月、小幌駅のお話をしました。噴火湾とようら

観光協会で行っている小幌駅「秘境到達証明書」発行事業が、朝日新聞デジタルで紹介され、アクセスランキングが堂々の1位になりました。報道各局でも取り上げるとのことで、東京からも日本テレビが取材に来られ、全国に豊浦町の名前が広がり、いろいろな場面で経済波及効果が出るものと期待をしています。今後とも各関係団体等連携・協力して事業展開を図っていきたく考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

町民の皆様には、日一日と寒さが増してきますので、体調管理には十分注意していただき、輝かしい新年を迎えられますことをご祈念申し上げ、年末の挨拶に代えさせていただきます。

